



並木中等story

令和4年3月22日号

3月22日に実施した終業式の校長挨拶（抜粋）です。

○リーダーにふさわしい人とはどのような人でしょうか。これに対する答えはたくさんあります。もしかすると、一人一人異なるかもしれません。

○今日は私の考えるリーダー像を話します。私は条件が3つあると思います。

○**1つは広い器です。**対立する人や反対する人も巻き込めるような器が理想です。人は対立する人や反対する人は排除しがります。しかし、それではいけないのです。その対立や否定の中に、発展のヒントがあるからです。私のA案に対して、反対のB案があったら、考えて考えて考えて、それを上回るC案をつくればいいのです。対立や反対意見も大切だと思ってください。

○**2つ目は失敗を乗り越える勇気です。**リーダーになると自分の思い通りにならないことにたくさん出会います。恨まれることもあります。判断ミスをすることもあります。失敗もあるでしょう。落ち込むことがあります。しかし、いつまでもくよくよしてはいられません。大切なことは、何度、失敗をしても、起き上がり歩き始めることです。七転び、八起きです。失敗は私も嫌です。できれば、したくありません。しかし、失敗は成功の素です。嫌な経験が多いほど、その後、堂々としていられます。失敗は早く経験するほど、そして、多くするほど、その人を成長させます。それを信じて起き上がる勇気を持ってください。

○**3つ目はバランス力です。**一つの事象にこだわってはいは視野が狭まります。広い視野で、いろいろな状況を把握する必要があるのです。“誰が何をしているのかな”とアンテナを高くできる人は、新しい気付きを得やすいと思います。さらに、今、どうするか、だけでなく、この後どうなるか、どうするかといった視点も大切です。見る、聴く、調べる、動いて感じることを通して物事を考えてください。

○さて、実は**これらの3つは、並木中等の課題探究で学んでいる**ことを皆さんは気付いていますか。既存の学習だけでは、新たな発見やイノベーションはなかなか難しいです。課題探究では一人一研究、オリジナルデータを取って、失敗を乗り越えながらの学習します。これが大切なのです。誰かが調べたものをコピーして貼り付けただけの探究では、形はよく見えても、魂がない場合があります。苦勞して仕上げることによって、この“苦難を乗り越える”心も身に付けているのです。

○今、お話ししたのは、私の私見です。皆さんは皆さんのリーダー像を持っています。皆さんがどのようなリーダーになるか、皆さん自身が考えてください。

年度末、年度初め休業期間、「並木中等story」はお休みします。次年度は4月6日にスタートします。